

# 1. 評価報告概要表

作成日 平成20年5月12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1171100751
法人名	株式会社あすなるホーム
事業所名	あすなるホーム庄和
所在地	〒344-0112 埼玉県春日部市西金野井169-5 (電話) 048-718-3270

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年5月1日

【情報提供票より】(20年4月11日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成16年5月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 12人, 非常勤 3人, 常勤換算	14.6人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	62,500 円	その他の経費(月額)	20,000円 + 実費	
敷金	有 (80,000円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (120,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	450 円	おやつ	50 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(4月11日現在)

利用者人数	17 名	男性	3 名	女性	14 名
要介護1	2 名	要介護2	6 名		
要介護3	6 名	要介護4	1 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	78 歳	最高	91 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	庄和中央病院、山崎歯科医院
---------	---------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、緑が多く静かな住宅地の中に建つ平屋建てで、近くに小学校、商工会館がある。建物の中には、2ユニットとデイサービスが併設されている。月1回、季節や伝統行事に関するイベントを計画したり、デイサービスの利用者と余暇活動を楽しむ等メリハリのある生活に努めている。介護サービスの向上を目指して介護研究がなされ、終末ケアにも取り組み、その事例をまとめ発表している。職員は明るく穏やかで、また、向上心も旺盛で、人間関係も大変良く落ち着いている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価では、ホーム内が殺風景であり、お花がない。昼食時、職員が騒がしい。口腔ケアの事を指摘された。その後の取り組みとして今は、季節の花が何箇所にも飾ってあり、職員の態度も穏やかに利用者と接しているし、口腔ケアもきちんと利用者にあわせて支援している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>あすなる通信など回覧として出してみることを検討するなど、職員各自が自己評価に取り組み反省点や継続の話し合いを行った。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2ヶ月ごとに年6回開催している。構成メンバーは、地域の代表、家族代表、利用者代表、行政職員、包括支援センター、民生委員である。毎回議題を決めてアドバイスを受け、報告、話し合いを行っている。後日職員全員で再度検討し、サービス向上に活かしている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>あすなる便りは年4回、金銭報告は毎月送っている。利用者の状態に不安や問題が生じた場合はその都度、家族に報告している。また、2ヶ月に1回ホームに来てもらい、面談をするとともに、管理者は状況に応じて対応している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会加入しており、地域代表として民生委員が運営推進会議に参加している。小学校の校庭を借りてお花見会を実施し、小学生が声かけをしてくれたり、地域のクリーン作戦にはスタッフが参加している。ボランティアの方とも交流し、オカリナやピアノ演奏などが行われている。散歩する時は、地域の人達が声かけをして下さったり、行事を通して地域との交流が図られている。</p>

## 2. 評価報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「いつでも安心して生活できる家を提供します。」「一人ひとりの感性を大切に心をこめた介護サービスを提供します。」「地域の中で信頼されふれあいの出来る施設を目指します。」以上の地域密着型サービスに沿った理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を事務所、各グループホームに貼り毎朝ミーティング時に唱和して地域密着サービスの理念に沿ってその実現に努めている。職員は頭の中に理念を取り入れて日々行動している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	5月に地域で行われるクリーン作戦に参加している。自治会にも加入しており、ボランティアの方とも交流している。小学校の校庭での花見や運動会への参加等、地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価で3点改善を指摘されたが、その後の取り組みとして、季節の花を何箇所にも活け、職員も穏やかに利用者と接しており、口腔ケアも利用者に合わせて支援するなど、評価を活かした具体的な取り組みを行っている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、年6回開催している。メンバーは、地域代表、家族代表、利用者代表、介護保険課職員、包括支援センター職員、民生委員で構成され、毎回議題を決めて報告、話し合いを行っている。そこでの意見等は、職員全員に報告しサービス向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ケアマネージャーは、包括支援センターが主催している研修には必ず参加している。また、市から委託の「ふれあい大学」の受講者と話し合う機会をもつなどして、サービスの向上に活かしている。月1回介護保険相談員の訪問もある。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	あすなる便りを年4回発行し送っている。また、行事毎にも送付するとともに、2ヶ月に1回面談に来てもらっている。金銭報告は毎月送っている。利用者の状況が不安になった時、問題があった時はその都度報告し、管理者が状況に応じて対応している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会が年2回開催され、出された意見は運営推進会議に報告している。玄関には意見箱を設置し、活用状況は運営推進会議、家族会に議題として出している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者への影響も考慮し、職員数を確保することで、利用者の負担にならないよう努めている。また、他施設と連携を取り協力し合っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ケアマネージャー研修、包括支援センター主催の研修に参加している。また、月1回勉強会を行い、参加した職員は研修内容を報告し資料等を渡している。他にも認知症の研修会に参加してスキルアップをするなど、職員間の励みとなっている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入しており、また、年1回の研修に参加し交流をしている。あすなる事業所で年1回行われる事例発表会では、各施設1事例を提出し検討することも行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービスをいきなり開始するようなことはせず、まずは施設に来て見ていただくことから始め、徐々にサービスを開始するよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と一緒に支えあって学んでおり、できる限り関わりを多くして、利用者を理解して支援している。戦争体験の話し等、利用者から学ぶことが多い。また、興味を示す事を一緒に行っている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン作成時も利用者、家族の意見を聞き話し合ったうえで計画作成するなど、できるだけ一人ひとりの希望や意向を把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当者とケアマネジャーはカンファレンスを行い介護計画を作成している。担当者に問題提起してもらい、問題が発生したら直ぐカンファレンスをしている。家族への連絡等は居室担当者が行い、家族の意見も何度となく聞いている。また、日常生活の記録から検討する事もある。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	担当制を設けており、担当者、家族、利用者、ケアマネジャーと話し合いを持ちながら現状に即した介護計画を6ヵ月毎に見直ししている。また、家族から同意を得ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	マンネリ化しないように併設しているデイサービスでのゲーム等に参加し交流を楽しむなど、状況に応じた支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回の往診があり、何か問題のある時は受診時にきめ細かく相談している。また、今までのかかりつけ医に通院している利用者もおり、家族の意向を取り入れ受診をサポートしている。病院へ家族と一緒に連れて行ったり、状況把握のため職員が連れて行くこともある。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時、家族からターミナルケアのあり方について可能な範囲で聞き、確認を取っている。重度化した場合は、家族、かかりつけ医と相談し、全員で共有し合うように努めている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常日頃から一人ひとりと接する際の言葉かけや態度には注意している。また、記録や情報の持ち出しなど取り扱いには十分気をつけている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の意思を第一に優先し対応している。一人ひとりにあったペースで食事をとってもらうなど、その人らしさを大切にしている。昔の話をするなどで、会話の中から個々を引き出し、担当者に聞けばその人のことが分かるように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器類は、茶碗等自分の物を持ち込んでいる。調理、味付け等は外食産業へ委託しているが、ご飯は職員が電気炊飯器で炊いている。食事は、利用者と職員と一緒にいただき、少し飲み込みの困難な方にはきざみ食を用意し、職員が側で見守っているようにしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回入浴の支援があるが、基本的には本人の希望、タイミングに合わせて行っている。時々声かけをするなどして安全面に配慮している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみ等出来る事は手伝ってもらい、本人の力を活かして役割をもてるよう支援している。また、気晴らしの支援として、スーパーへの買い物に車で一緒に行ったり、交代で外食をすることもある。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣への散歩のほか、小学校での花見、移動動物園等、行事での外出の支援も行っている。また、戸外での家庭菜園や草花いじりを楽しんでいる。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵は掛けていない。玄関はいつでも自由に出入りできるようにしてある。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回(10月～5月)救命訓練を実施している。消防訓練は行われているが、夜間訓練、地域の方々との共同訓練は実施されていない。職員が近所に住んでいるので直ぐ駆けつける体制になっている。		消防署と密に連携は取れているので、今後は夜間訓練や地域の方との共同訓練が行われることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	特に水分は、最低でも食事の際と10時・3時のお茶の時間で補給を行い、摂取量や栄養バランスについては、一人ひとりにあつた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室のドアには犬の写真が貼ってあったり、玄関、フロアー、食堂には季節の花が飾ってある。また、音楽も軽く流れていて心が安らぐように工夫されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者と家族が相談のうえ、位牌、使い慣れたタンスやテーブル等を持ってきて頂いている。自分の家のように居心地よく生活できる環境作りを心掛けている。		